

別紙2

令和8年度 新潟県担い手経営発展推進大会開催要領

1 目 的

新潟県の農業も農業者の高齢化・担い手不足が進む中、経営体当たりの耕作面積が急速に増加しており、その流れは今後も続くことが予想される。また、海外情勢不安定による資材高騰や異常気象により、農業所得確保が難しい状況もある。

このような厳しい状況を打破していくためには、経営戦略や人材育成など経営基盤の強化が課題となってくる。担い手が将来展望を持てる農業経営の展開と、これを通じて地域農業を持続可能なものとするため、「経営基盤の強化」をテーマに農業者および関係者が集う新潟県担い手経営発展推進大会を開催する。

2 主 催 新潟県担い手育成総合支援協議会

3 日 時 令和8年8月5日（水）13時から16時まで

4 場 所 ①ANAクラウンプラザホテル新潟2F 芙蓉（定員100名） 新潟市中央区万代5-11-20 ②WEB 「Zoom」によるオンライン参加

5 参集範囲 認定農業者、農業法人、市町村、農業委員会、農業協同組合 農業共済組合、土地改良区、県関係機関・団体 他

6 日程及び内容

時 間	内 容
13:00～13:05	○開会挨拶 新潟県担い手育成総合支援協議会会長（新潟県農業会議会長）
13:05～13:35	<第1部> 令和8年度新潟県優良農業経営体等表彰式 ○優良認定農業者の部 ・経営改善部門 新潟市 有限会社白根グレープガーデン 様 魚沼市 有限会社サンライス魚沼 様 ・技術革新部門 新発田市 有限会社アシスト二十一 様 ・付加価値創造部門 南魚沼市 株式会社関農園 様 〃（女性活躍） 聖籠町 株式会社 Ripifarm 様 ・地域創生部門 佐渡市 株式会社佐渡相田ライスファーマーミング 様 ○働き方改革の部 長岡市 有限会社百笑会 様 ○担い手づくりの部 柏崎市 株式会社田村農産 様 ○農福連携の部 魚沼市 関 裕也 様

13:35～14:25	< 第 2 部 > ○受賞者からの事例発表 （１）有限会社アシスト二十一 代表取締役 木村清隆 様 （２）株式会社関農園 代表取締役 関 智晴 様
14:25～14:40	（休 憩）
14:40～16:00	○講演 「食料安全保障の確立を目指して」 講師：中森農産株式会社 代表取締役 中森 剛志 様 【講師略歴】 2010 年 4 月 青果流通業を学生起業 2011 年 3 月 東京農業大学卒業 2016 年 5 月 埼玉県において個人事業主として農業経営者となる 2017 年 2 月 中森農産株式会社設立、代表取締役に就任 2025 年 4 月 栃木県、島根県、山口県にて事業承継を行い、各県にあるグループ企業の代表取締役に就任
16:00	○閉会挨拶 新潟県担い手育成総合支援協議会副会長（JA 新潟中央会専務理事）